学校番号	3021

令和２年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（東京書籍）						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・漢字の書…楷書、行書を中心に、平易な隷書も取り扱う。
・仮名の書…単体、連綿、全体の構成など。
・漢字仮名交じりの書…漢字と仮名の調和した、表現の構想と工夫。
・その他…篆刻、創作、表具（裏打ち・パネル製作）、鑑賞など。

２ 学習の到達目標

書道の学習を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 プリント	観察 プリント 提出作品	観察 プリント 提出作品	観察 プリント 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2年前期	中国古典の臨書 漢詩創作 古代文字創作 工芸作品制作	『礼器碑』 『曹全碑』 『顔氏家廟碑』 木簡 甲骨文字 鐘鼎文 うちわ等の制作	○	○	○	○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 プリント 提出作品
2年後期	漢字の書	「千字文」	○	○	○	○	a:書体の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:「千字文」を全員で分担し、全体を大軸に仕立て、互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	
	書道展		○				a:美術科と合同の美術・書道展に意欲的に取り組めたか。	作品展示

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。